

ご自宅で、最期まで。

医師、看護師がご自宅へうかがいます。



Shonan Ofuna  
Clinic

湘南  
おおふな  
クリニック

医療法人社団 All for Kamakura

# 訪問診療の対象となる方

- ✓ 病気や老化のために御一人で通院が困難な方
- ✓ がん治療中の方  
※大学病院やがんセンターに受診しながら在宅医療の併診も可能です。  
(がん治療は病院で・日々の体調管理は在宅医療で担当)
- ✓ 最期までご自宅で過ごしたいと希望されている方
- ✓ 難病や自宅で医療機器の管理が必要な方



## 対象疾患

認知症、神経疾患、脳梗塞後遺症  
神経変性疾患（パーキンソン病、  
筋萎縮性側索硬化症（ALS）など）  
脳腫瘍  
胃がん、大腸がん、肝硬変、肝不全  
肝がん、膵臓がん、胆道がん  
前立腺がん、腎がん、膀胱がん  
慢性腎不全、慢性心不全  
肺がん、慢性呼吸不全  
慢性閉塞性肺疾患（COPD）  
骨折後、骨粗鬆症、関節リウマチ  
変形性膝関節症  
貧血、悪性リンパ腫  
褥瘡  
膠原病全般

## 対象症状

衰弱  
飲み込みが悪い  
食事が取れない  
繰り返す肺炎  
脱水  
動けない  
痛み

## 対応可能な処置



点滴療法



酸素療法



中心静脈栄養



緩和ケア



尿道カテーテル



ろう  
胃瘻

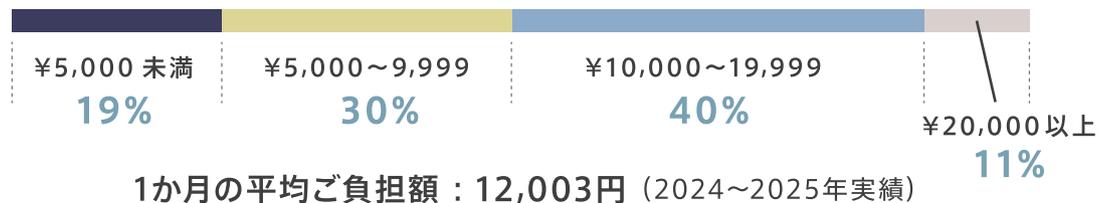
## Q. 「往診」と「訪問診療」はどう違うのでしょうか？

「往診」は急な発熱や吐き気のような健康トラブルに対し、ご家族からの求めに応じて**臨時**に診療を行うものです。

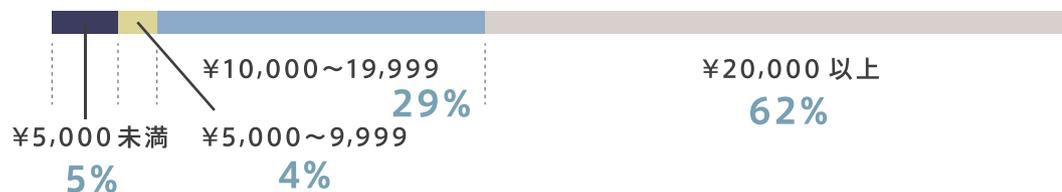
「訪問診療」は外来受診予約のように「〇月〇日〇時頃に」とお約束してご自宅で診療します。**定期的**かつ**計画的**に訪問し、診察・服薬の調整・療養上の相談などを行っていきます。ご家族の介護状況などもお伺いしながら診療計画を立てていきます。

## Q. 自己負担額はいくらくらいでしょうか？

### 通常時 自己負担額の目安



### 看取り時 自己負担額の目安



最終月の平均ご負担額：26,964円 (2024~2025年実績)

※費用の詳細は別紙をご参照ください

## 診療までの流れ



### 1. お電話を頂きます

0467-44-1117へお電話ください。  
入院中の方は病院スタッフからのご連絡でも大丈夫です。



### 2. 事務員から説明があります

ご自宅もしくはクリニックでの事前面談をお願いしています。  
患者さんの病状、内服薬、介護の状況などをお伺いします。「訪問診療申込書」を記載頂き診療の準備が整います。



### 3. 医師が訪問いたします

ご自宅での診察を行い、ご家族・患者さん・ケアマネジャーさん等と相談し話合います。  
時間をかけながら今後の診療方針を考えていきます。

※緊急性がある方(末期がん・極度の老衰など)の場合には、この限りではありません。  
迅速に医師がご自宅にお伺いします。

## Q. お支払いはどのようになりますか？

金融機関の口座引落しをお願いしています。  
例) 8月診療分のご請求額を9月中旬にお伝えします。  
→ 9月末に口座引落しでお支払い頂きます

# 患者さんアンケートから

当院の診療を受けた患者さんのご家族に向けてアンケートを実施しました。(2025年12月実施)  
お応えいただいたご家族の方からのあたたかいお言葉と、サービス向上へのご要望を公開いたします。

## Q1. 職員の言葉遣い・態度についてお聞かせください。

「穏やかに、ゆっくり話して下さるので理解しやすいです。」  
「事前に確認の連絡をくださり、訪問して下さる方々も敬意を払って接して下さいます。」  
「明るく接して下さるだけでなく、介護者への心配りにも感謝しています。」



平日の午前中にクリニックへ電話したところ、なかなかつながりませんでした。

A

ご不便をおかけし、誠に申し訳ございません。当院では外来診療も行っているため、外来診療時間中はお電話が混み合う場合がございます。訪問診療専用の電話番号をご案内しておりますので、そちらをご利用ください。

## Q2. 医療費などの質問・相談に対し、職員の対応や説明はいかがでしたか。

「具体的に説明して下さったので、不明な点はありませんでした。」  
「自費について前もって金額を確認して下さったので助かりました。」  
「分かりやすいように必要なことを一つずつ丁寧に説明して下さりました。」

## Q3. 医師の訪問診療の内容についてお聞かせください。

「症状に合わせて患者が楽になるよう薬を調整して下さり、最期まで痛みで苦しむことなく過ごせました。看取る側にとっても不安がありませんでした。」  
「先生の優しい言葉の数々で、少しずつ病氣と向き合う気持ちを持つことができ、静かに見守ることができました。」  
「『この家の環境が本人にとっても良い』と言って下さったことが、家族としてとても嬉しかったです。」  
「特に最期が近づいた頃には、息子・娘それぞれに面談の時間を設け、不安な気持ちに寄り添って下さいました。」

## Q4. 自宅や施設での診察によって、安心して療養できていると感じましたか。

「病院での長時間待機が辛かったため、訪問診療になり、身体的・精神的負担が軽減されました。」  
「最期まで自宅での療養を希望していたので、本人の精神状態が安定し、穏やかに過ごせたと思います。」  
「最期の一週間、家族全員がそばで濃密な時間を過ごし、友人にも囲まれて過ごせたことは、診療に来ていただいたおかげだと思っています。」



料金についての説明を本人が十分に理解できておらず、後で家族が困りました。銀行引き落としなど、不信感が生じないよう説明をお願いします。

A

ご不安を与えてしまい、誠に申し訳ございません。今後は、一つ一つ分かりやすい説明を心がけてまいります。ご家族の皆さまも、ご不明な点がございましたら、どうぞ遠慮なくお問い合わせください。

## Q5. 緊急時(夜間を含む)の対応についてお聞かせください。

「夜間に何度か連絡した際も、素早く対応していただきました。緊急時に対応していただけることで、気持ちの面でとても安心できました。」  
「『いつでも連絡してください』と言って下さることに感謝しています。」  
「電話で、手元にある薬の服用についてアドバイスをいただけるので、大変助かっています。」  
「先生だけでなく、看護師さんや薬剤師さんとのチームワークが素晴らしく、適切に対応していただきました。」

※掲載スペースの都合上、全てを掲載していないこと、文章に一部編集を加えていることをご了承ください。

## 私たちが大切にしていること

尊厳ある生活ができる地域をつくります。

例えば、尿道カテーテルを外すことができるかを一人ひとり丁寧に検討することは、生活のしやすさや尊厳を守ることに繋がります。

院長は日本泌尿器科学会専門医であり、在宅医療の現場において専門性の高い泌尿器管理を直接提供できることが、当院の大きな特徴です。

2025年12月までに当院が担当した方は640名で、その約4分の1にあたる153名が尿道カテーテル留置や腎瘻・膀胱瘻を必要としていました。高齢で長期的な管理を要する方が多いことが特徴です。

私たちは、「本当に尿道カテーテルが必要か」「抜去できる可能性はないか」を常に検討しています。

患者様・ご家族と十分に話し合ったうえで尿道カテーテル抜去の希望がある場合には、膀胱鏡検査などを実施し、専門的な評価に基づいて抜去の可否を判断しています。その結果、45名の患者に尿道カテーテル抜去を試み、34名(約76%)が自然な排尿が可能な生活を実現し、排尿の自立性向上と生活の質(QOL)の改善につながっています。

不要な医療的デバイスの長期留置を漫然と継続しない医療を、私たちは実践しています。



## 特長

1. 厚生労働省による指定要件を満たし、連携型による**機能強化型在宅療養支援診療所**の認定を受けています。
2. 神奈川県内「**在宅医療において積極的役割を担う医療機関**」\*1として位置づけられており、5か所の在宅療養支援診療所と連携しています。
3. 同一法人内に**24時間対応の訪問看護ステーション**があり、末期がん患者さんの療養に対する密な連携が可能です。

(\*1)「在宅療養において積極的役割を担う医療機関」に求められる事項

- ・医療機関(特に一人の医師が開業している診療所)が必ずしも対応しきれない夜間や医師不在時、患者の病状の急変時における診療の支援を行うこと。
- ・在宅での療養に移行する患者にとって必要な医療及び介護、障害福祉サービスが十分確保できるよう、関係機関に働きかけること。
- ・臨床研修制度における地域医療研修において、在宅医療の現場での研修を受ける機会等の確保に努めること。
- ・災害時等にも適切な医療を提供するための計画を策定し、他の医療機関等の計画策定等の支援を行うこと。
- ・地域包括支援センター等と協働しつつ、療養に必要な医療及び介護、障害福祉サービスや家族等の負担軽減につながるサービスを適切に紹介すること。
- ・入院機能を有する医療機関においては、患者の病状が急変した際の受入れを行うこと。

鎌倉市内「在宅医療において積極的役割を担う医療機関」

(2025/12/31現在)

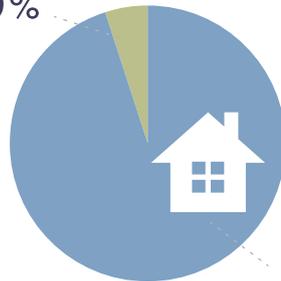
- ・深沢中央診療所
- ・ドクターゴン鎌倉診療所
- ・湘南おおふなクリニック
- ・ふれあい鎌倉ホスピタル
- ・かがみ在宅クリニック  
(神奈川県ホームページ  
<https://share.google/xHaU9TicH8WZhZI8B>)

## 当院実績

(2025年12月までの実績)

老人ホームなど「施設」

5.0%

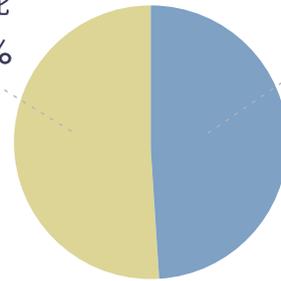


ご自宅  
95.0%

### 申し込み時の住まいの種別

お住いの種別はご自宅が95%を占めます。

他因死  
51%

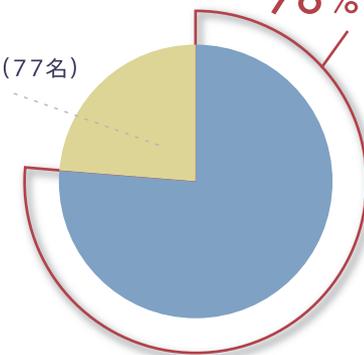


### 死因

当院の患者さんの死因は、  
がんで亡くなった方が49%を占めています。

がん死  
49%

他院死  
24%(77名)



### 在宅看取り率

自宅と自宅以外の高齢者施設などと合わせた  
76%が当院の在宅看取り率になります。

当院の看取り率  
76%(247名)

がん末期の患者さんのような緊急を要するご要望に応えるために  
2016年に「湘南おおふな訪問看護ステーション」を開設しました。

## 訪問看護の内容

### ご家族のサポート

介護方法の指導や、ご家族のお悩み相談など、ご本人だけでなくご家族も安心して過ごすことができるようお手伝いさせていただいています

### 療養上のお世話

身体の清拭、洗髪、入浴介助、食事や排泄のお手伝いや指導

### 病状の観察

病気や障害の状態、血圧など全身状態のチェック

### 床ずれ予防・処置

床ずれ防止の工夫や指導、処置

### 在宅でのリハビリテーション

日常生活動作の訓練、嚥下機能訓練など利用者さんの状態に合わせて行います

### ターミナルケア

癌末期や終末期などでも、自宅で有意義に過ごせるようお手伝い

### 医師の指示による医療処置

かかりつけ医の指示に基づく医療処置カテーテル、ストマ管理など

Tel. **0467-55-9922**  
Fax. **050-3458-0312**  
鎌倉市大船2-24-28金子ビル102号

サービス提供日時：  
**月～土 8:30～17:30**  
**24時間365日対応**  
事業所番号:1462190296

鎌倉市で在宅医療をおこなっている  
様々な医療機関と連携して、  
迅速で寄り添う看護をおこないます！

Shonan  
Station  
湘南おおふな  
訪問看護ステーション

湘南おおふな訪問看護ステーション

米澤 礼子 管理者 / 看護師



熊本県 益城町立 広安小学校避難所: 認定NPO法人AMDAでの医療支援  
(2016/4/20~27) 8日間



平成30年7月豪雨

広島県呉市を中心に災害  
トイレを設置する支援活動  
(2018/7/14~18) 5日間



長野市立 豊野西中学校避難所: 認定NPO法人AMDAでの医療支援  
(2019/10/13~19) 7日間



認定NPO法人AMDA・日本医師会災害医療チーム(JMAT)での医療支援  
石川県輪島市輪島中学校避難所  
(2024/1/16~1/25) 10日間  
輪島地区保健医療福祉調整本部  
(2024/2/25~2/29) 5日間  
門前地区保健医療福祉調整本部  
(2024/3/27~3/31) 5日間



## 連携機関と応援メッセージ

当院は厚生労働省による指定要件を満たし、連携型による機能強化型在宅療養支援診療所の認定を受けています。また、より高度な医療が必要な場合に備えて複数の病院と連携しております。その他、専門医・歯科医等医療機関とも連携し、症状に応じて専門性を持った医師へご紹介いたします。

### 診療エリア：鎌倉市、横浜市栄区、藤沢市一部

#### 患者、家族のことを 第一に考えるクリニック



長谷川先生には在宅患者での泌尿器科疾患やトラブルについての相談や往診を依頼することがあります。先生には臨時の依頼でも、すぐに対応していただきいつも感謝しています。

先生の医療、特に訪問診療への想いは熱く、まず患者、家族のことを第一に考えています。人を思いやる気持ち、周囲への気配りなどは日頃の会話を通じて感じられます。常に平静で患者、家族に安心感を与えます。

そんな人柄に周囲のスタッフもついてきているのだと思います。これからもよろしくお願いいたします。

ドクターゴン鎌倉診療所 院長 / 鎌倉市医師会 理事 今井 一登

#### 連携している主な訪問看護ステーション

愛心訪問看護ステーション / アンオン訪問看護ステーション / 医療生協かながわ生活協同組合訪問看護ステーション ふかさわ  
鎌倉市医師会鎌倉訪問看護ステーション / ガイアリハビリ訪問看護ステーション / 在宅リハビリ訪問看護ステーション TOMO 鎌倉  
湘南おおふな訪問看護ステーション / 訪問看護ステーションさかえ / BOND BASE 看護 / アカラ・ケア訪問看護ステーション  
さざなみ訪問看護ステーションサテライト / 訪問看護ステーションはぴけあ鎌倉 / みんなの訪問看護リハビリステーション戸塚  
看護小規模多機能ホーム こころ / 愛心訪問看護ステーション / にこにこ訪問看護ステーション / エリー訪問看護ステーション鎌倉  
エリー訪問看護ステーション鎌倉 小町サテライト 他



● 横浜南まほろば診療所

● 本郷台ホームクリニック

木村内科・胃腸内科

横浜栄共済病院

湘南おおふなクリニック

大船中央病院

● 清川病院

## 地域に溶け込んだアットホームな診療所

先生のあまりにも気さくなお人柄に甘えて、長年お仕事を一緒にさせていただいております。医療と介護の隔たりなく、お話を聞いていただけますので、情報共有は迅速です。たくさんの方々に先生や看護師さんとお見送りしました。ケアマネジャーとして、心から信頼させていただいております。

またクリニックの看護師や事務員の皆様は、患者さんと目線を合わせ家族のように接して下さいます。湘南おおふなクリニックは地域に溶け込んだアットホームな雰囲気診療所です。

そらいろケアプラン ケアマネジャー 渡邊 夕雅

## 連携している主な薬局

アプリ薬局大船店  
すばる中央薬局大船店  
たんぼぼ薬局 飯島店  
みらい薬局 大船店  
さかえ薬局  
なぎさ薬局  
オリーブ薬局  
鎌倉ファーマシー大船薬局  
クオール薬局大船2号店 他

## 在宅医療の可能性を 広げるクリニック



当診で訪問していたパーキンソンの患者さん、肺炎で入院した際、尿のバルンカテが入り、そのまま退院してきました。尿バッグを下げた状態だと行動が制限され、ますます動けなくなってしまう。

まず相談先として頭に浮かんだのは湘南おおふなクリニックでした。さすがに泌尿器科のプロの長谷川先生、トレーニングされた看護師さんと共同して自己排尿は可能と判断、短期間のうちに抜去。バルンカテ入って帰ってきたら、それを抜く、という発想がなかったのを打破してくれた刺激。

在宅医療でできることの幅が広がったと実感しました。

深沢中央診療所 所長 / 鎌倉市医師会 副会長 宮下明

## 地域で支え合う医療の充実を目指して

鎌倉市では40歳以下のターミナルケア支援制度がなく、長谷川先生を中心に在宅医療機関連携グループの先生方より行政機関に働きかけ、今年度(2019年度)より「若年者在宅ターミナルケア支援制度」として支援制度が開始されました。

また在宅医療では顔の見える関係性作りを大事にされており、多職種が気軽に相談できる勉強会を定期的に開催、2017年より「湘南スタイルの在宅医療」講演会を開催しています。講演会では地域で活躍されている医療従事者の方が職種の枠を超えた知識を共有、多職種の方々と連携を取り、地域で支え合う医療も充実を目指し率先して取り組まれているクリニックです。

鎌倉市医師会鎌倉訪問看護ステーション 管理者 榛葉 由美

## 医師・スタッフ紹介

私たち医師、看護師、ケアマネジャーおよび事務スタッフがチームとして、地域のみなさんの在宅の生活をサポートします。

### 長谷川 太郎 医師

医療法人社団All for Kamakura 理事長  
湘南おおふなクリニック 院長  
NPO法人ひなサボ鎌倉 理事長

1995年 東京慈恵会医科大学 卒業

日本泌尿器科学会専門医  
難病指定医  
認知症サポート医  
日本医師会かかりつけ医機能研修 修了  
在宅褥瘡管理者  
緩和ケア研修修了  
オンライン診療研修修了  
嚥下機能評価研修セミナー修了  
鎌倉市防災・災害医療アドバイザー  
防災士  
鎌倉市高齢者保健福祉計画推進委員会 委員  
鎌倉市介護認定審査委員会 委員

(2026年1月現在)

執筆

今日の治療指針2024, p1685-1686

「輸液療法(皮下輸液, IVH, 薬剤投与を含む)」

今日の治療指針2025, p1660-1661

「感染症対策」



### 山下 大輔

診療科：泌尿器科  
専門医：日本泌尿器科学会専門医



### 武田 むつき

診療科：内科・神経内科  
専門医：日本内科学会内科認定医



### 川神 智

診療科：整形外科  
専門医：日本整形外科学会専門医



#### 湘南おおふな訪問看護ステーション

### 米澤 礼子 管理者 / 看護師

これまで多くの看取りに立ち会ってきました。  
患者さんやご家族が大切にされていると感じられるよう、思いやりのある看護を、お住まいの中で提供できるよう努めてまいります。



### 若林 香保里 看護師 主任

学生の頃から憧れていた訪問看護師として、ご本人やご家族の思いに寄り添いながら、ご自宅で皆が笑顔で過ごせるよう訪問させていただいています。  
ご自宅での生活で不安なこともあると思いますが何でもご相談ください。



### 村川 瑞枝 看護師 副主任

ご本人、ご家族が安心してご自宅で過ごせるようお手伝いしていけたらと思っております。  
今まで歩まれてこられたご本人の生き方、考え方、不安なこと、困っていること、いつでも一緒に考えられる看護師、ステーションでありたいと思います。



#### 湘南おおふな居宅介護支援事業所

### 寺師 京子 管理者 / ケアマネジャー

「『わたし』が主語の人生をチームで共に」  
おひとりおひとりの「わたし」の言葉、大事にされている想い、歩んでこられた道のりに寄り添い、ご家族様、支援チームで連携しながら、「マイプラン(ケアプラン)」を作成させていただきます。



### 事務スタッフ

クリニックのメンバーと連携して、患者さんによりよい医療が提供できるようにサポートします。



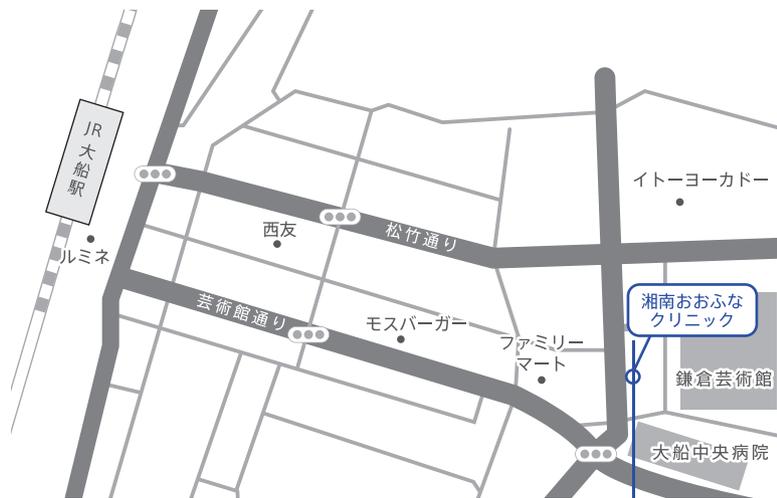
### リハビリテーションスタッフ

### 太田 由香 言語聴覚士

少しでもご本人の望む生活に近づくように、少しでも痛みや生活のしづらさが改善するように、がんばります。みなさんの希望などを聞かせていただき、よりよい生活になるよう一緒に考えていければと思いますので、よろしくお願ひします。

### 清水 奈々子 作業療法士

病院や施設ではなく、「自宅」という利用者様のフィールドで、ご本人ご家族の気持ちに寄り添ったリハビリを行えればと思っています。



Shonan Ofuna  
Clinic

湘南  
おおふな  
クリニック

医療法人社団 All for Kamakura

機能強化型在宅療養支援診療所  
訪問診療・泌尿器科・女性泌尿器科・内科

Tel. 0467-44-1117

Fax. 050-3737-5815

〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船 2-25-2 (鎌倉芸術館前)

初版: 2019年9月 / 第2版: 2026年1月



## ご自宅で、最期まで。

当法人の理念は、「**地域の人々のいのちと健康を守り、最期まで尊厳ある生活ができる医療支援を行うこと**」です。地域の方々をはじめ、医療・介護・福祉など、さまざまな職種の方々と相互に連携し、包括的かつ包摂的な在宅医療を実践することを目標としています。

私たちが在宅医療を行ううえで大切にしているのは、患者さんをよく理解し、患者さんやご家族を支え、共に悩み、そして共に揺らぐことです。

法人名を「医療法人社団 All for Kamakura」としたのは、「みんなで、みんなのために、地域をよりよくしたい」という思いからです。病院医療と地域医療は、車の両輪のように、どちらも欠かすことはできません。私たちは、その両者の連携を大切にしながら、地域の多様な担い手と協力関係を築いてきました。

開院から13年が経過し、地域の方々とのつながりが、線から面へ、そして面から立体へと広がってきたことを実感しています。開院以来、**2025年末までに640名の方々に担当し、247名の方々のお看取りをしてきました。**

私たちは、これからも地域の皆さんが「おうち」で家族の声や生活の音を感じ、「おうち」の明かりや風、匂いに包まれながら、穏やかに過ごしていただけるよう、そのお手伝いをしてまいります。

医療法人社団All for Kamakura 理事長

湘南おおふなクリニック 院長

長谷川 太郎